

講義コード	513137201	
講義名	デザイン論	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科 (短大)	
講義開講時期	前期	
基準単位数	2	
時間	0.00	
代表曜日	火曜日	
代表時限	1 時限	
科目分類名	教養科目	
科目分野名	B 群	
対象学部・年次	短期大学部・1～2年	
必須/選択	選択	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	花田 千絵	指定なし
専任教員	教務委員会 (短大)	指定なし

## 授業の概要

### 授業の概要

人間は、より心地よく生活するため、よりよく生きるために、様々なデザインを生んできた。この授業では、デザインの基礎を学び、身近なデザインについて考察し、デザインへの理解を深める。

### 授業の方法

#### ①プレゼンテーションの方法

授業では、パワーポイント、配布印刷物を活用する。

#### ②授業形態

講義形式でデザインの例などから知識を得た後、ワークシート(またはForms) 記入等で考察したり、実際に色や形で表現するなどの体験学習をする。

#### ③アクティブラーニング

本科目では、講義で学んだことを身につけ、デザインへの理解を深めるために、ワークシート(またはForms) への記入を通して自ら考察し、デザインとしての表現を試みる。

#### ④課題に対するフィードバックの方法

学習後に解説する。

第1回 ガイダンス デザインとは何か

第2回 構成の要素

第3回 錯視

第4回 線の表現と平面構成

第5回 レタリング (1) 基本

第6回 レタリング (2) 応用

第7回 マーク (1) 基本

第8回 マーク (2) 応用

第9回 パッケージデザイン

第10回 エコとパッケージデザイン

第11回 ユニバーサルデザイン

第12回 子どもとデザイン

第13回 環境デザイン

第14回 遊具のデザイン

第15回 デザインについてまとめ

## 授業の到達目標及びテーマ

デザインの基礎を理解し、デザインの用途と造形要素について関連づけることができる。

到達目標については、学習成果における②知識・技能、③実践力と実務能力、④人間性と協働性が該当する。特に④を重視する。

本科目は、幼児教育科のディプロマポリシー「1.諸領域（人と自然・人と社会・人と文化・言語・情報・キャリア形成）の学問分野における基礎的知識を持っている。」を達成するための科目である。

## 授業計画表

## 授業時間外の学修

日頃から身の周りのデザイン、色、かたち等に関心を寄せておくこと。

予習として事前に配布する資料を読んでおくことを求めます。

各回の予習には90分かかると想定されます。また、復習として、レジュメおよび板書事項の見直しをしてください。各回に復習には90分かかると想定されます。

予習・復習した事項を中心に、毎回、確認テストを行います。

#### 実務経験の有無

#### ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
	○	○	◎

#### ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、助言・新たな資料提供等の支援を行っている
考察力	調べた結果のみではなく、それを自分なりに解釈し説得力のある形で結論づけていると認められる	調べた結果のみではなく、それを自分なりに解釈し結論づけていると認められる	調べた結果のみではなく、それを自分なりに解釈し結論づけようとするが、説得力に欠ける	調べた結果のみを提示するに留まり、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
課題解決能力	意欲的に課題に取り組むとともに、他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる。	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたとしてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している
レポート力 (復習も含む)	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない

#### 成績評価法 (表形式)

	評価基準	備考
定期試験		
小テスト等	20%	授業の理解度を評価する
成果発表	20%	授業を理解し自分なりに結論付けていると認められるかどうかを評価する
授業への貢献度	20%	授業参加の態度への意欲を評価する
レポート	20%	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされているかを評価する
その他	20%	学習したことを活かしたデザイン表現を評価する

#### 課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題 (レポート等) について	模擬授業、プレゼン、発言等について
掲示板等に正解と講評を掲載する	掲示板等に正解と講評を掲載する	掲示板等に正解と講評を掲載する

## ICTを活用した双方向型授業の内容

等	クリッカー、アンケート、小テスト
用	チャット 掲示板の活

## アクティブラーニングの割合

総授業時間数の60～100%程度のアクティブラーニングである
--------------------------------

## アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） プレゼンテーション 小テストや授業内レポートの活用 調べ学習・調査の活用	実験観察・実習	授業後レポート

## 教科書

授業時に資料を配布する。

## 参考書

適宜紹介する。

## SDGsとの関連

に	4. 質の高い教育をみんな
---	---------------

## 特記事項等

- ①実務経験のある教員  
なし
- ②科目のナンバリング  
LCU1101
- ③オンライン授業の実施方法  
Teamsによる教材提供、課題提出等を行う。
- ④その他の特記事項  
特になし

## 研究室（訪問先等）

中央研究棟 2階 231研究室  
出講日（授業のある曜日） 火・水・金

## 電話番号

028-667-7111（代）

## 授業用E-mail

[hanada@sakushin-u.ac.jp](mailto:hanada@sakushin-u.ac.jp)